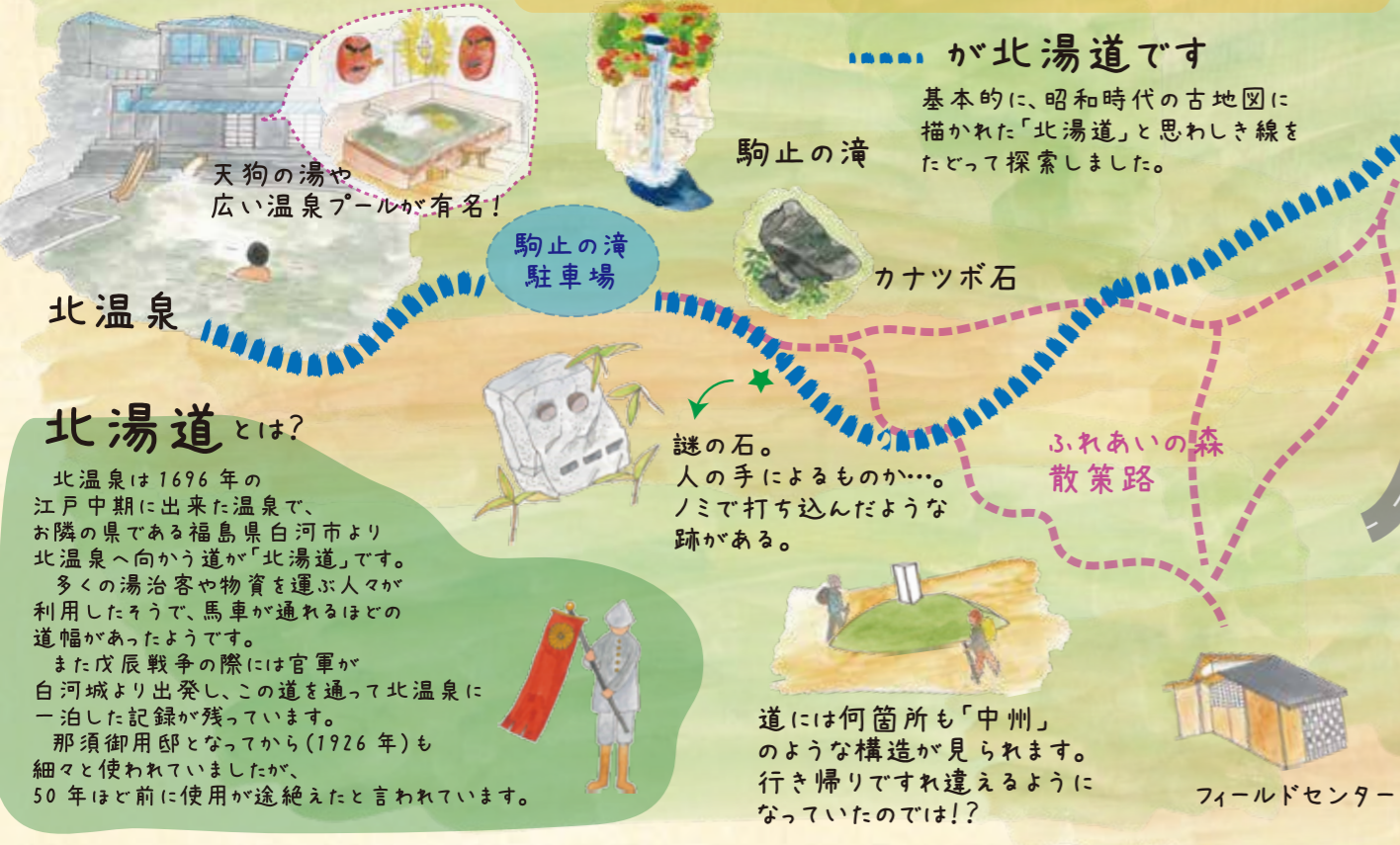


森にひそむ古道…

北湯道

令和3年11月23日(火・祝)に、「北湯道」探索ツアーを行いました！
那須平成の森に存在した古道を、数少ない情報を元に参加者で協力して探索する…。
そんな謎解きのような企画を通して、北湯道の全貌が少し明らかになりました。
今回は、プログラムを経てみえてきた北湯道の様子を、イラストでレポートします！



北湯道とは?

北温泉は1696年の江戸中期に出来た温泉で、お隣の県である福島県白河市より北温泉へ向かう道が「北湯道」です。多くの湯治客や物資を運ぶ人々が利用したそうで、馬車が通れるほどの道幅があったようです。また戊辰戦争の際には官軍が白河城より出発し、この道を通って北温泉に一泊した記録が残っています。那須御用邸となってから(1926年)も細々と使われていましたが、50年ほど前に使用が途絶えたと言われています。

想像ですが…

北湯道はこのようにアカマツが生え、馬車が通り、近くには放牧している那須駒や、美しいツツジが咲いていたのかもしれない。今回、プログラムとして北湯道を探索していく中で、決定的な証拠が少なく悩ましい部分も多かったのですが、その分参加者の皆さんと謎解きを楽しむことができました。普段は自然に関するテーマを取り上げることが多いですが、歴史という新たなポテンシャルを発見することができました。第二回も実施したいです！

福島県白河市へ…

那須平成の森 秋のできごと(10月～11月)

10月 特別ガイドウォーク 「キノコの森歩き」

枯れ木や落ち葉を分解したり、木の成長を助けたりする、重要な森の“調整役”であるキノコ。昨年に続き、キノコを通して森の仕組みやつながりを考えるようなガイドウォークを行いました。当日は強風の中でしたが、皆さんの熱い想いでどんどんキノコが見つかっていき、なんと天然のマイタケまで発見しました！舞い踊るように喜んだのは忘れられません。今回は臨時休園で日程の変更などがありましたが、今後実施出来るなら元々予定していた夏の終わり頃にリベンジしたいです。(丸山)



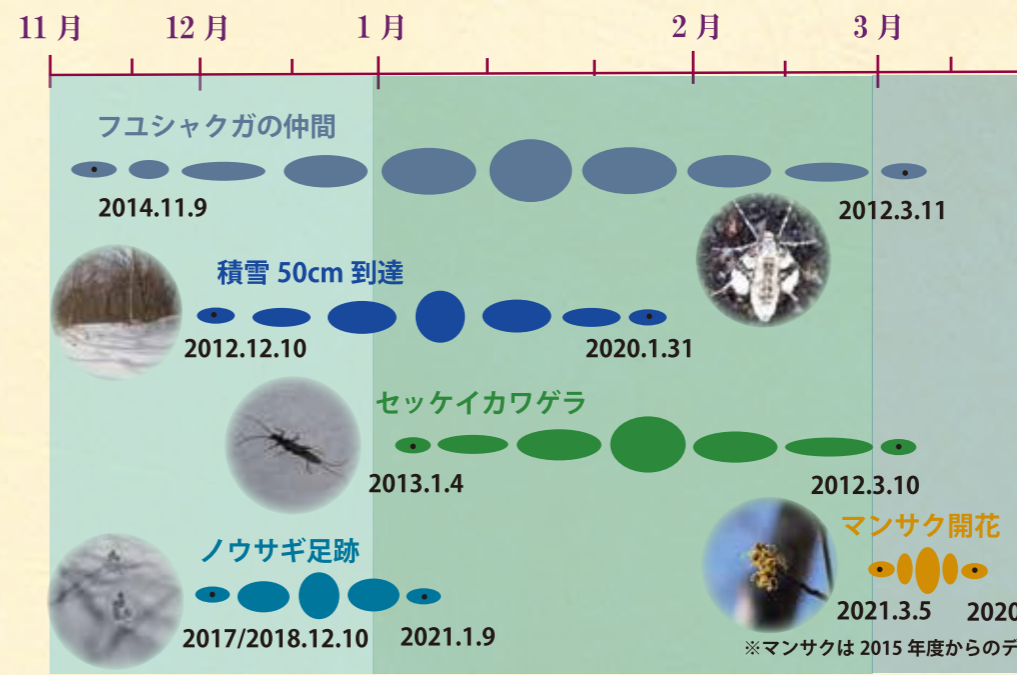
10月 自然体験学習プログラム 「那須子ども自然クラブ」

10月31日に実施した「那須子ども自然クラブ」。那須の森を地元の子供達に知ってもらいたい！という思いから、栃木や福島の小学生に対して実施したプログラムです。ドングリの数を数えてクマの食べる量を調べたり、シカが樹皮を剥がした跡を探していたらクマの爪跡が見つかったり。そして紅葉の美しい谷底では巨木の大きさを測ったり、様々な調査を通して那須の森を体験しました。5時間という長丁場に、さすがに疲れた様子を見せる子もいる中、もっと長くても良かったと感想をくれた猛者もいました！今回の企画を基に、今後も子ども達に向けたプログラムを開催したいと思います。(檜山)



自然の動き (フェノロジー) で振り返り 冬編

10周年を迎えた那須平成の森では、自然の動きにも変化が見られています。森で見られる代表的な自然物の年による動きを、インタープリターの記録から読み取ります。
※ここでは、その年に初めて咲いた日(開花日)、見られた日(初認日)を分析しています



冬の積雪は年明け前の12月上旬～年明け後までと1ヶ月ほど幅があるようです。温暖化の影響はでているのでしょうか。冬を代表する昆虫、セッケイカワゲラとフユシャクガは見られる期間に大きな幅がありました。この2種は小さいため見つけることが難しいことがあります。そのため、発見の期間に幅があるのかもしれない。

今号「冬編」をもって最終回です。